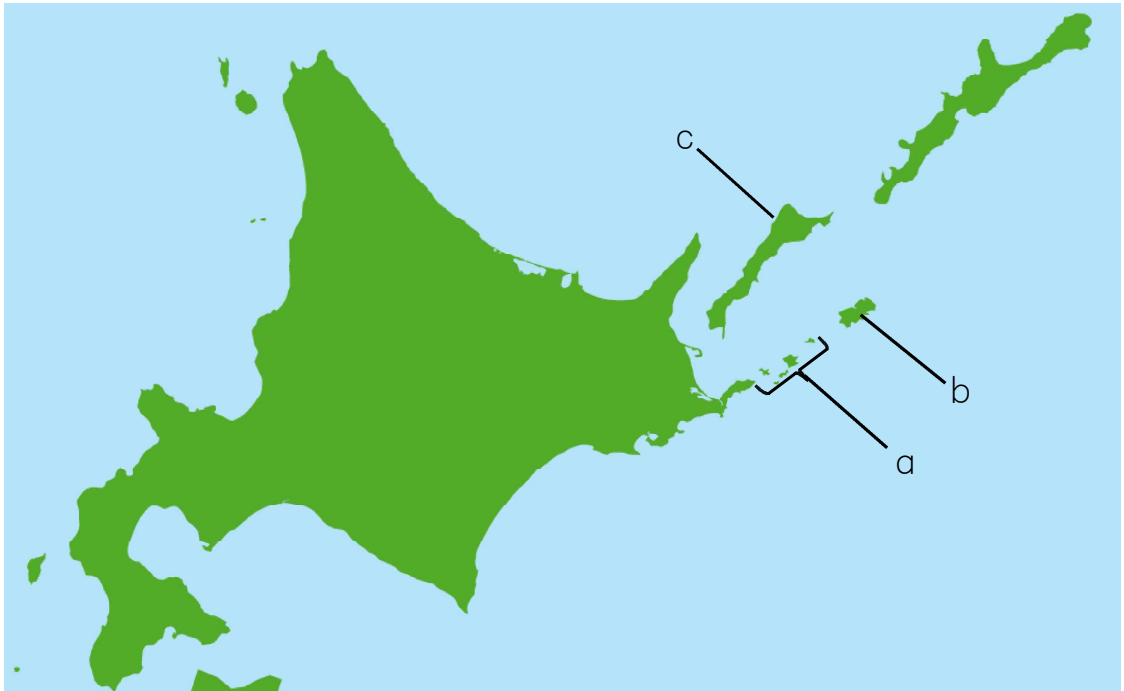


平成26年度 学年末問題（第8回）  
ほっかいどうチャレンジテスト 社会中2年組 番氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 我が国は、1956年に日ソ共同宣言に調印して、ソビエト連邦との国交を回復した。しかし、日ソ間の領土問題は解決しなかった。日ソ間の領土問題は、ソ連からロシア連邦に引き継がれたが、現在も未解決である。我が国の政府が、ロシア連邦政府に対して返還を求めている、我が国固有の領土である北方領土は、a 群島、b 島、c 島、択捉島からなっている。

〔略地図〕



(1) a ～ c のそれぞれに当てはまる語句を書きなさい。

- a  群島
- b  島
- c  島

2 豊さんは、これまで地理で学習した内容から、日本の工業についてレポートにまとめました。このレポートを読んで、(1)、(2)の問いに答えなさい。  
 <豊さんのレポート>

日本は世界の中でも工業がさかんな国です。  
 日本で早くから工業が発達していたのは、京浜・中京・阪神・北九州などの工業地帯です。  
 工業原料の多くを輸入にたよる日本では、第二次世界大戦後、東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海などの臨海部に、鉄鋼や石油化学などの工場が立ち並び、  
 a と呼ばれる臨海型の工業地域が形成されました。  
 1970年代以降は、内陸型の新しい工業地域が、東京や大阪などの大都市圏の周辺や、東北地方や九州地方などに形成されるようになりました。  
 日本の各地方の工業には様々な特色があり、例えば、愛知県は自動車の生産台数が多く、岡山県の沿岸部には石油化学コンビナートや製鉄所が多く集まっています。

(1) 文中の a に当てはまる語句を書きなさい。 4

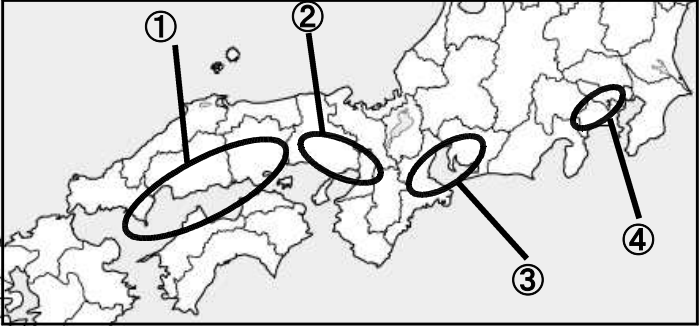
(2) 下の表から中京工業地帯の製造品出荷額に該当するものをA～Dから1つ選び記号で書きなさい。また、下の略地図からその位置に最も近い場所を①～④から1つ選び記号で書きなさい。

【表 京浜、中京、阪神工業地帯と瀬戸内工業地域の製造品出荷額等及び製造品出荷額等の構成(平成22年)】

	製造品出荷額 (単位 億円)	金属	機械	化学	食料品	せんい	その他
A	481,440	10.2%	65.7%	6.1%	5.3%	1.0%	11.7%
B	292,784	19.4%	33.8%	24.9%	7.2%	2.1%	12.6%
C	301,386	20.4%	36.6%	17.1%	10.3%	1.5%	14.1%
D	257,710	9.2%	46.2%	18.5%	10.1%	0.5%	15.5%

(「日本国勢図会2013/2014」から作成)

【略地図】



5

製造品出荷額
場所

<完全解答>

3

景子さんは、江戸幕府の政治についてカードにまとめました。このカードを見て、(1)～(3)の問いに答えなさい。

カードA 松平定信の政治  
 ・江戸に出てきていた農民を故郷に帰した  
 ・米をたくわえる倉を設置した  
 ・儉約令を出した  
 ・旗本・御家人の借金を帳消しにした

カードB 水野忠邦の政治  
 ・儉約令を出した  
 ・株仲間を解散させた  
 ・江戸に出てきていた農民を故郷に帰した  
 ・江戸や大阪周辺の農村を幕府の領地にしようとした

カードC 徳川吉宗の政治  
 ・武士に質素・儉約を命じた  
 ・上げ米の制を定めた  
 ・新田の開発を進めた  
 ・米の値段の安定に努めた  
 ・公事方御定書を定めた  
 ・目安箱を設置した

カードD 田沼意次の政治  
 ・株仲間を奨励した  
 ・長崎の貿易を活発にした  
 ・印旛沼を干拓した  
 ・商工業を活発にした  
 ・蝦夷地を調査した

(1) カードAからカードDを時期の古い順に並べ替えたとき、正しい順番になるものをア～エから1つ選び、記号で書きなさい。

- ア カードA → カードD → カードC → カードB  
 イ カードC → カードB → カードD → カードA  
 ウ カードD → カードC → カードB → カードA  
 エ カードC → カードD → カードA → カードB

6

(2) カードA・B・Dに示されている人物が就いていた役職名を書きなさい。

7

(3) カードA・Bにある「江戸に出てきていた農民を故郷に帰した」という政策を行った理由として最も適切なものをア～エから1つ選び、記号で書きなさい。

- ア 江戸の農民の数が増加することにより、士農工商の身分制度が崩れることを防ぐため。  
 イ 農村の人口が減少し、農村にある商店などの売り上げが減少することを防ぐため。  
 ウ 江戸の農民の人口が増えすぎて、武士との人数のバランスが崩れることを防ぐため。  
 エ 農村の人口が減少し、幕府に納められる年貢が減少することを防ぐため。

8

4

明治時代の条約改正などについてまとめた【年表】を見て、(1)、(2)の問いに答えなさい。

【年表】

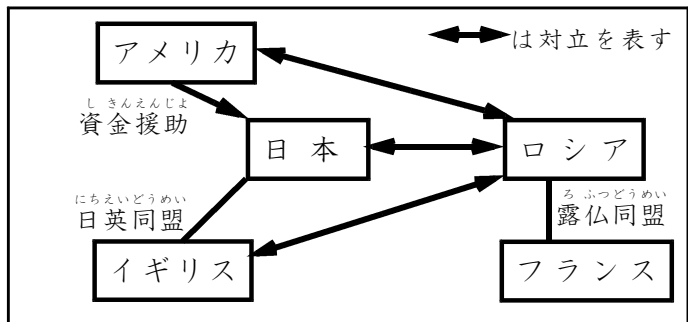
1871年	岩倉使節団が欧米視察に出発する (条約改正の交渉も行う)
1880年代	欧化政策が進められる
⇕	
期間 a	
1885年	内閣制度ができる
1889年	大日本帝国憲法が公布される
1890年	初の衆議院議員選挙が実施される
⇕	
期間 b	
1894年	日英通商航海条約が締結される
⇕	
期間 c	
1902年	① 日英同盟が締結される
1904年	日露戦争が起こる
1910年	韓国併合が行われる
⇕	
期間 d	
1914年	第一次世界大戦が起こる

(1) 外務大臣の小村寿太郎によって関税自主権の完全な回復が行われた時期を、年表中の期間 a～期間 d から 1 つ 選び書きなさい。

9

(2) 下線部①のできごとについて、なぜ、日本とイギリスが同盟を結んだのか、右の図を参考に、次の語句をすべて用いて、日本とイギリスのそれぞれの理由が明らかになるよう説明しなさい。

語句〔 清 韓国 〕



10

10 問中